

四宮，近藤両教授退職記念号刊行によせて

学長 原 純 子

いま本学は、この上なく貴重な先生方とお別れしなくてはならない時期を迎えました。

お一方は四宮晟先生です。先生は東京文理大学をご卒業後、千葉大学で講師，助教授，教授と，一貫して心理学（教育）をご研究，講義の対象となさいました。その間，昭和43年に教育学博士，その後同大学教育学部長，大学院研究科長等を歴任されました。61年ご退職のあと，本学園の千葉敬愛短期大学初等教育科教授にご就任，さらに平成2年4月からは本学専任教授にお迎えいたしました。たちまち月日は過ぎて今回のご退職ということになりました。

なお，上述の略歴にはとても収めきれない数多くのご経歴もおありですが省略させて頂き，現在は千葉県公立高等学校協議会の議長としての重い職務を果されていることをつけ加えておきます。

また枚挙にいとまがないご労作，ご業績の数々も省かせて頂きます。たゞ先生のお人柄については少しトーンを強めて語りたいのです。いつも悠揚せまらない態度と優しい笑顔で誰にでも接せられ，時としてみせられるユーモアも逸品です。若々しい容姿と目立たないお洒落どころも。仕事のあい間には車も運転なさるしテニスもキャリア組だとか。おそらくは活き活きした精神活動に加えての日頃の鍛練が重なってあのように健康に輝いておいでなのでしょう。驚きの一語につきます。

もうお一方は近藤精造先生です。東京帝国大学理学部地質学科を卒業され，千葉大学助手，講師，助教授，教授の道を歩まれ，この間，昭和36年

に理学博士，その後同大学教養部長，学生部長等を併任されました。学会その他でのご活躍，業績は語りきれませんが，とりわけ地震や環境問題でテレビなどへのご登場も記憶しておられる方が多いと思います。63年4月から本学専任教授としてお迎えし現在に至ったのですが，理事長の話によりますと20数年前から本学園の高校でもお教え頂いた由で，長いおなじみの方であります。

お人柄につきまして，近藤先生もまたいつまでも若々しさを保った春風のようなおだやかな笑顔をたやさない方です。明るく鄭重な物いいの中に自然なリーダーシップを備えた風貌とでも申しましょうか。

以上のお二人に共通していえることは，まず温厚そのものの外形の内に，これまでの学問や研究への情熱が時としてほの見えることです。それぞれの個性をしっかりお持ちになりながらわれわれととけあって下さったことも同じです。

数年のうちに後を追わねばならないわれわれにとって，少し見事すぎる目標ではありますが到達できないとしても努力はしてみたいと思います。そして又これらの先生方の過され方にも注目させて頂きたい気もいたします。退職されたあとでも社会的なご活動は当分続けられるはずです。一層ご健康に留意なさいましてリンとした人生をお送り下さい。

深い惜別の心をこめて――。